

第2期岡山市教育振興基本計画

学校園

家庭

地域社会

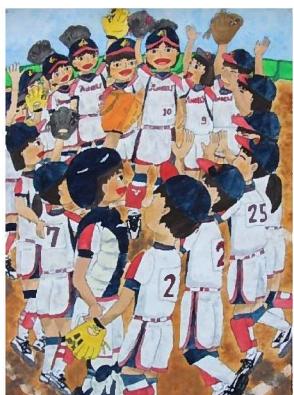
行政

事業者

平成29年3月
岡山市教育委員会

○表紙の作品について

チームの全員が勝利という目標に向かって心を1つにしている「勝利に向かって」の作品からは、岡山市が市民協働で子どもの育成に取り組む姿をイメージしました。また、みんなが笑顔いっぱいに遊んでいる「にじのそら」の作品からは、夢があふれる岡山市の未来の姿をイメージしました。



「勝利に向かって」
三宅 莉瑚さん（石井小学校5年生）



「にじのそら」
森 春花さん（旭操小学校2年生）

※策定時の学年

はじめに

情報化やグローバル化の進展、共働き世帯の増加などによる子育てをめぐる環境の変化、人間関係の希薄さからくる地域社会の教育環境の変化など子どもを取り巻く環境は、急速かつ大きく変化してきています。また、学習指導要領の改訂に向けた動きが加速化し、小中学校の道徳及び小学校の外国語教育の教科化などの新しい教育の方向性が国から示されています。

こうした中、本年2月には、「『樹人』明日の世界に雄飛する人を樹（う）うる」を目指す教育として掲げ、百年先を見据えつつも、喫緊の課題である学力向上と問題行動等の防止及び解決に重点的に取り組もうとする「岡山市教育大綱」が策定されたところです。

岡山市教育委員会では、本市全体の計画として策定された「第六次岡山市総合計画（前期中期計画）」の教育分野の詳細版として、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（愛称：岡山っ子育成条例）」の理念実現に向けた「第2期岡山市教育振興基本計画」を、このたび取りまとめました。本計画は、第1期計画で取り組んできた施策を見直し、今後の取組を体系的に整理することで、人権尊重の理念に基づき市民協働で本市の教育目標である「自立に向かって成長する子ども（自立する子ども）の育成」を図ろうとするものです。

この計画の推進に当たっては、中学校区を単位とし地域社会との協働による「岡山市地域協働学校」と、異校種の学校園の接続を大切にする「岡山型一貫教育」という2つの柱をより一層充実させるとともに、教育委員会がこれまで以上に積極的にリーダーシップを発揮し、学校園関係者や地域の皆様方と一緒にになってその実現に努めてまいります。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、ご協力をいただきました多くの皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成29年3月

岡山市教育委員会

教育長 菅野和良

～目次～

1 岡山市の教育理念	
(1) 市民協働による自立に向かって成長する子ども（自立する子ども）の育成	1
(2) 人権尊重の理念に基づく教育の推進	1
2 計画策定について	
(1) 策定の趣旨	2
(2) 計画の位置付け	2
(3) 計画期間	2
(4) 計画の範囲	2
3 人づくりを取り巻く現状と子どもを取り巻く課題	
(1) 人づくりを取り巻く現状	3
(2) 子どもを取り巻く課題	7
4 岡山市の目指す教育	
(1) 目指す子ども像	13
(2) 目指す教育環境	14
(3) 目指す教職員像	15
5 計画推進の考え方～つながりを大切にした教育の展開～	
(1) 縦と横でつながる教育（2つの柱で支える計画の推進）	16
① 中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～	
② 岡山市地域協働学校（コミュニティ・スクール）	
(2) 未来へつながる教育（E S Dの視点を取り入れた計画の推進）	16
6 6つの政策と13の施策	
(1) 政策について	18
(2) 施策と主な取組の体系	19
(3) 各政策と施策及び施策実現のための主な取組	20
7 計画の推進と進行管理	
(1) 計画の推進	46
(2) 計画の進行管理	46
8 参考資料	
(1) 策定の経過	47
(2) 策定の体制	49
(3) 岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（岡山っ子育成条例）	50
(4) 用語解説	52